

ユニキッチン

www.r-toolbox.jp

toolbox

目次	
各部の名称	1
安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
お手入れ方法	4
引出しの取り付け・取り外し・調整	5
開き扉の取り付け・取り外し・調整	6
調味料ラックの取り外し・調整	7
ダストボックスの取り外し・調整	8
食洗機下台引出しの調整（食洗機 W450 浅型／深型）	9

安全のために必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重大事項ですので、必ずお守りください。
- キッチンに組み込む機器（コンロや水栓など）に関しての注意事項は、それぞれの取扱説明書、及び機器本体に表示されている事項を必ずお読みいただき、その指示に従ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



禁止事項



接触禁止



分解・修理・改造禁止



指示に従う

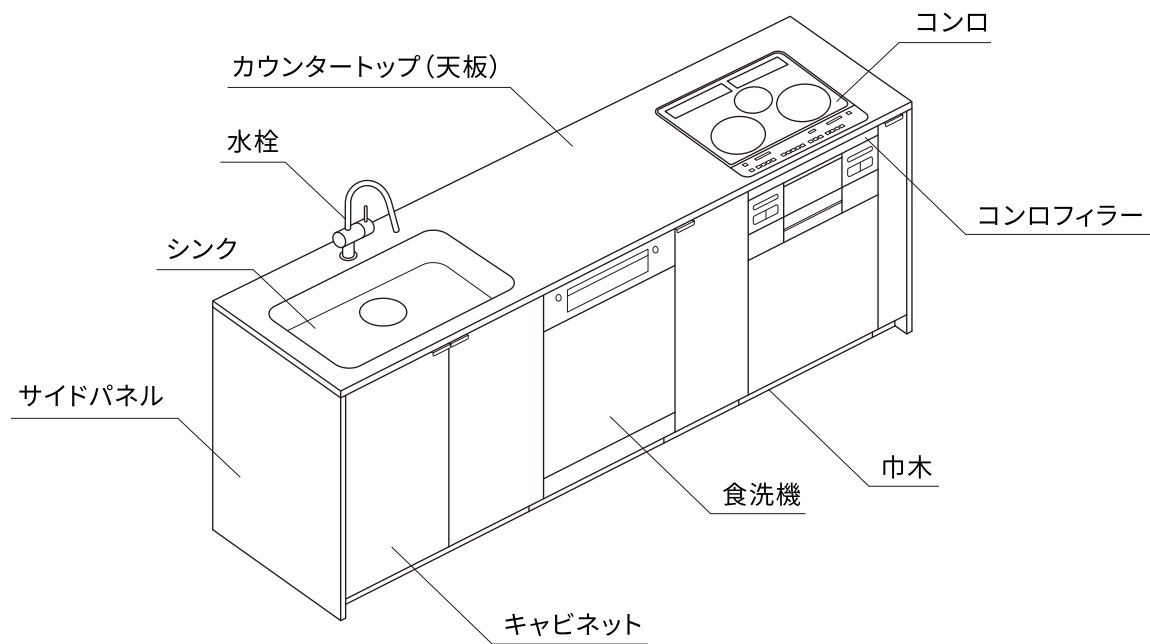


高温注意

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

各部の名称



安全上のご注意

必ずお守りください

警告



調理機器の上や回りには燃える物を絶対に置かないでください。
スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。

注意



扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のネジを締めなおしてください。
扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



扉や取手にぶらさがらないでください。
扉や取手がはずれて、ケガをする恐れがあります。



扉を大きく開け過ぎないでください。
扉がはずれて、ケガをする恐れがあります。



棚受けは確実に奥まで差し込んでください。
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。



てんぷら油や多量の熱湯を、直接排口に流さないでください。
排水器具などが変形して、水漏れの原因になることがあります。



**組み込まれる機器・水栓金具などについては、
それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項をお守りください。**
排水器具などが変形して、水漏れの原因になることがあります。



固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は使用したり、近づけたりしないでください。
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。
保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。



棚板の上に 12kg 以上載せないでください。また、一部分への集中荷重はさけてください。
棚板やキャビネット本体の変形により、載せているものなどが落ち、ケガをする恐れがあります。




調理器の使用中や使用直後は、調理器周辺に手を触れないでください。
放射熱で熱くなっており、ヤケドの恐れがあります。





改造しないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。


使用上のお願い


■ カウンタートップ（天板）


 熱したフライパン・鍋・火のついたタバコ等の熱いものはカウンターに直接置かないでください。
変色・変形の原因になります。


 固いものや鋭利な物は、落としたりひきずらないでください。
また、直接カウンターの上で包丁で物を切らないでください。
キズがつきます。


 濡れたままの包丁・缶詰等鉄製の物や、塩ビ・ゴム製品を長時間のせたままにしないでください。
錆び・変色の原因になります。

 酸やアルカリの薬品をかけたり流したりしないでください。
カウンターをいためます。


 油・煮こぼれ・調味料の汚れはすぐに水拭きしてください。
そのまま放置するとサビ・変色の原因になります。


 強い衝撃を与えないでください。


 シンク内に氷や井戸水を放置すると結露する場合があります。
結露による扉やキャビネットの変形・変色の原因になります。

 長期間、水滴を放置しないでください。
水アカの原因になります。（水道水に含まれるケイ酸によるものです）
また、木製天板は、繰り返し放置すると膨らみや反りの原因となります。


■ キャビネット

 シンナー・ベンジンなどの溶液で表面を拭いたりしないでください。
変色したり溶解することがあります。


 水をかけないでください。水の飛び跳ねはこまめに拭き取ってください。
また、濡れた手で触らないでください。
長時間放置すると扉やキャビネットの変形・変色の原因になります。

 油・調味料などの汚れはすぐに拭き取ってください。
長時間経つととれにくくなります。

■ 排水口（排水器具）

 布・ビニール・脱脂綿など水に解けにくいものを流さないでください。
詰まりの原因になります。

■ その他

 冬場、水道を凍結させないでください。
凍結の心配がある場合は、不凍栓を閉じて水栓の水抜きをあけて水を抜くか、水を細く出してください。

お手入れ方法

カウンタートップ（天板）

- ご使用後は水拭きしてください。
- 塩分・油脂分の汚れは、布・スポンジに台所用中性洗剤を含ませて拭き取った後、水拭きしてください。
- ガンコな汚れは、スポンジにクリームクレンザーをつけておとしてください。この時ステンレスカウンターは目の方向に沿って磨いてください。（強くこするとキズがつきますので、注意してください。）
- 水拭きの後、水アカが残らないように乾いた布でから拭きしてください。

キャビネット・扉

- 乾いた布または固く絞った布で拭いてください。
- 油脂分等の汚れは、布に中性洗剤を浸して拭き取り、固く絞った布で洗剤分を拭き取ってください。
- 隅にたまったゴミはブラシで取り除いてください。

排水口（排水器具・ホース）

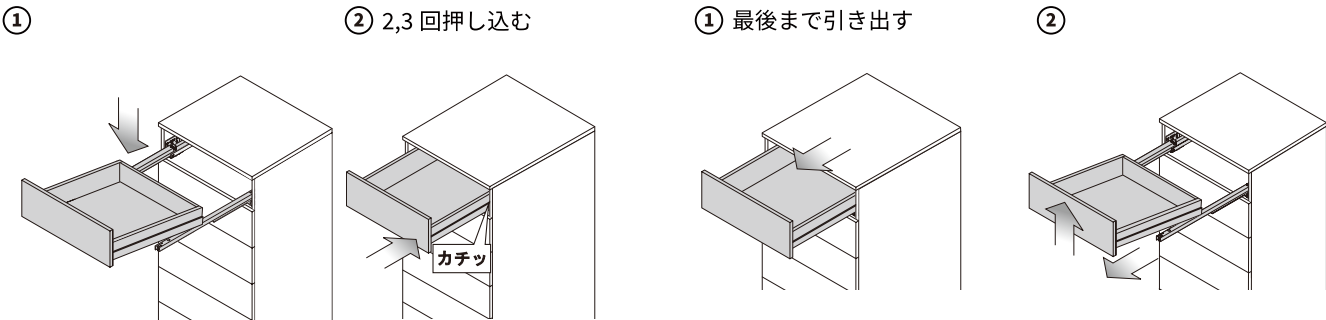
- 排水器具のフタやカゴは取り外せますので、お湯または中性洗剤でこまめに洗ってください。
- 定期的に「パイプ洗浄剤」を使用して、排水パイプを洗浄してください。

その他の設備機器

- 水栓等の手の届かないところの汚れは、ハブラシなどに中性洗剤をつけて落としてください。
- 各設備機器に付属の取扱説明書のお手入れの項をよくご覧ください。

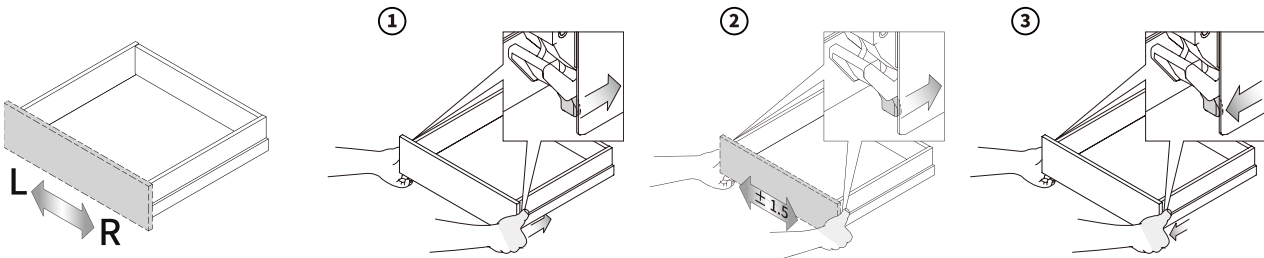
引出しの取り付け・取り外し・調整

■ 引出しの取り付け

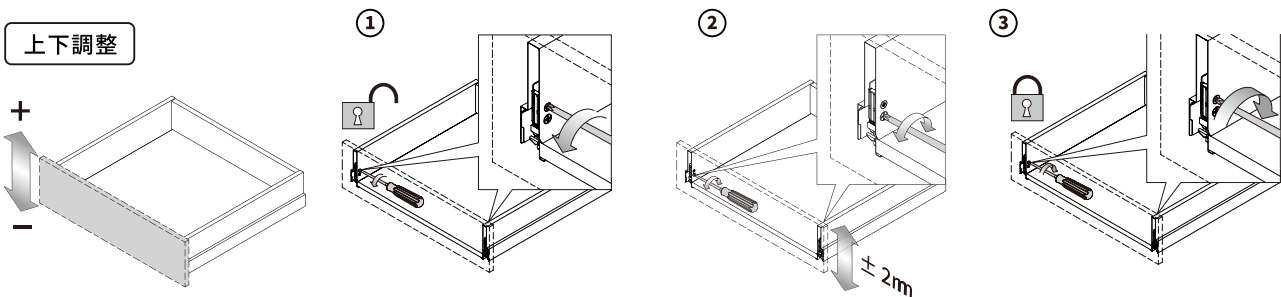


■ 引出しの調整

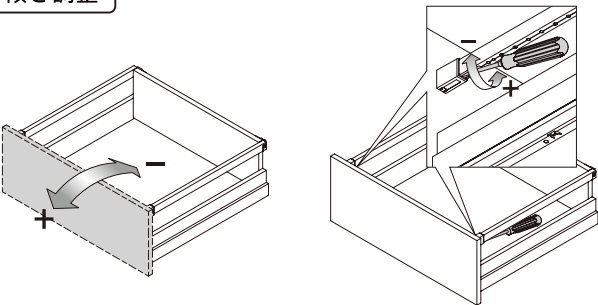
左右調整



上下調整



傾き調整

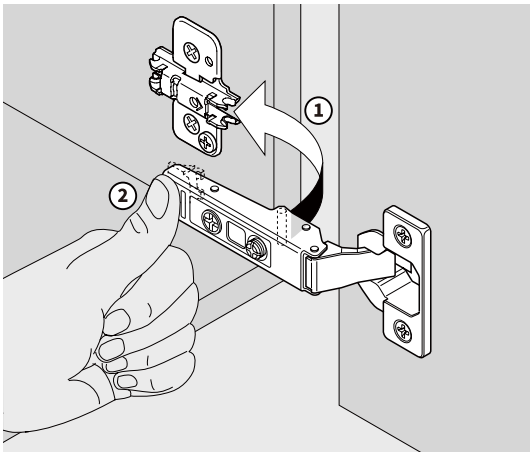


⚠ 注意 | 引出しが正しく取り付けられていないと、引出しが落下してケガをする恐れがあります。上記の注意事項を確認して、確実に取り付けてください。

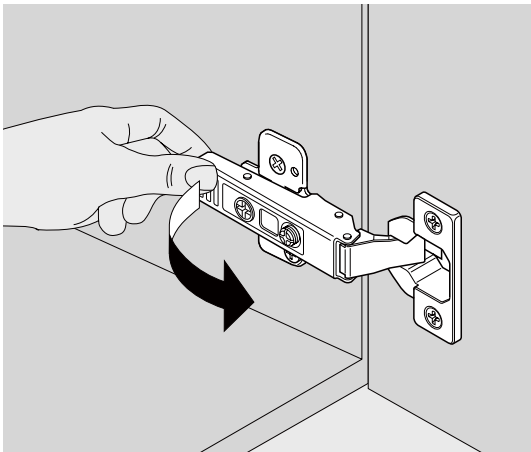
⊘ 取り付け後、数回出し入れを繰り返して、引出しが簡単に外れないか確認してください。

開き扉の取り付け・取り外し・調整

■ 開き扉の取り付け

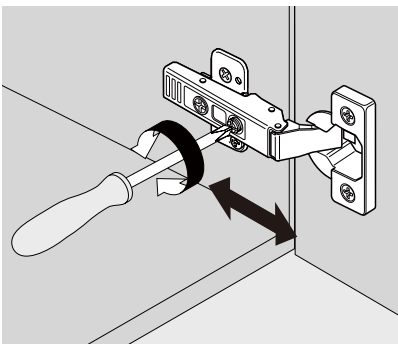


■ 開き扉の取り外し

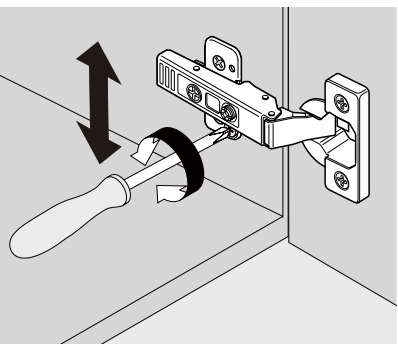


■ 開き扉の調整

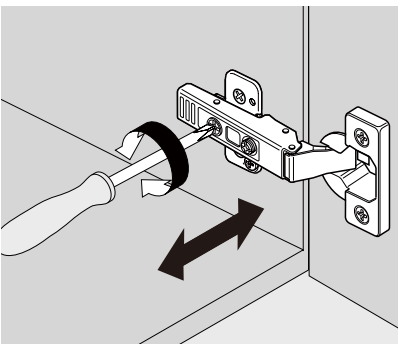
左右調整



上下調整



奥行き調整

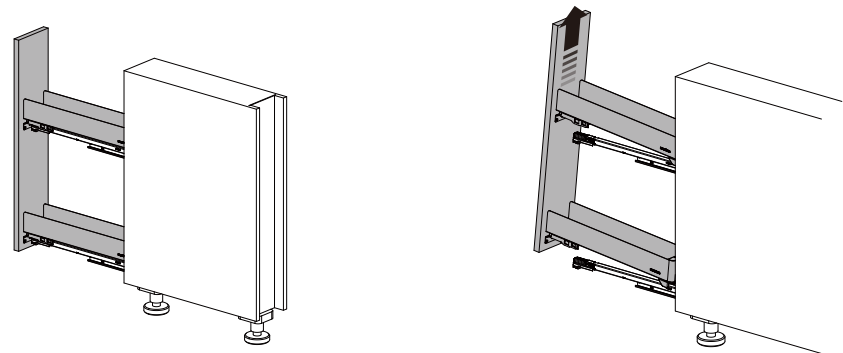


⚠ 注意 | 扉が正しく取り付けられていないと、扉が落下してケガをする恐れがあります。上記の注意事項を確認して、確実に取り付けてください。

⊘ 取り付け後、数回開閉を繰り返して、扉が正常に作動することを確認してください。

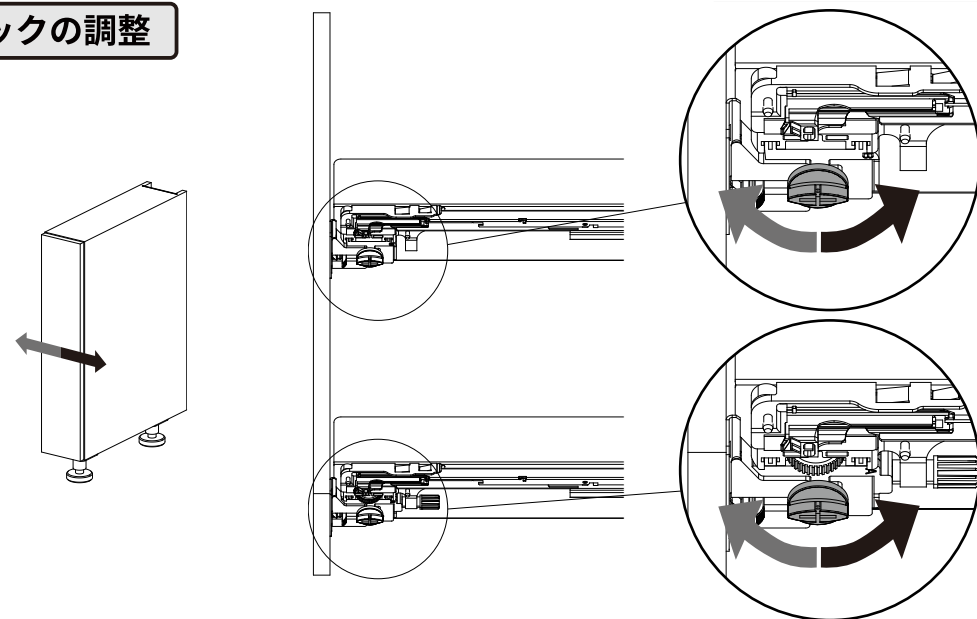
調味料ラックの取り外し・調整

■ 調味料ラックの取り外し

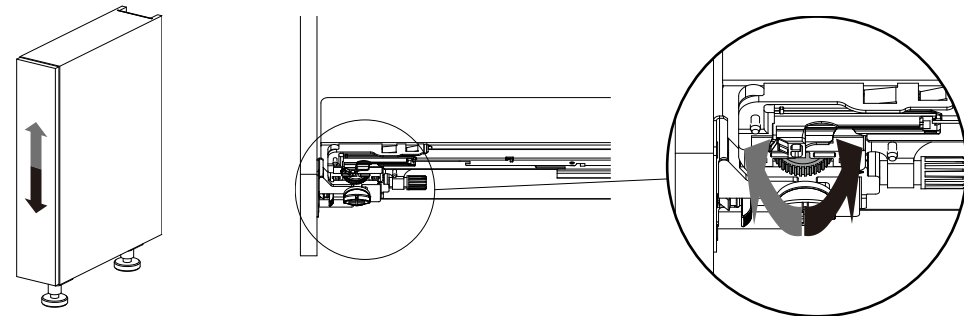


■ 調味料ラックの調整

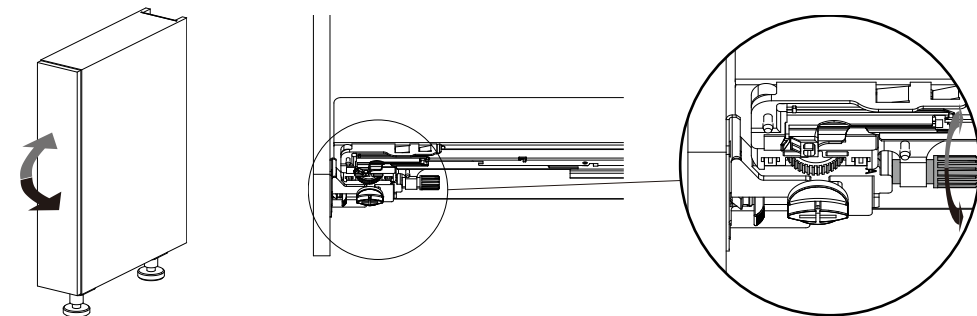
左右調整



上下調整

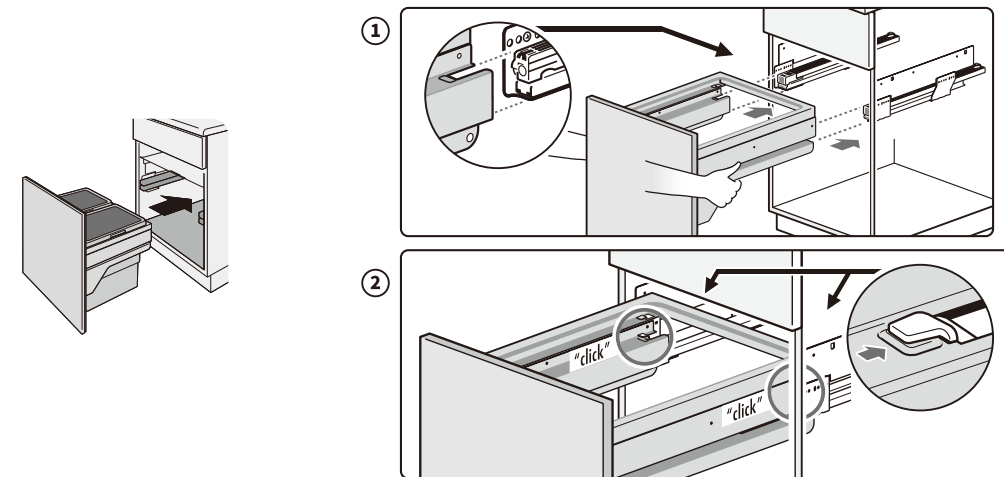


前後調整

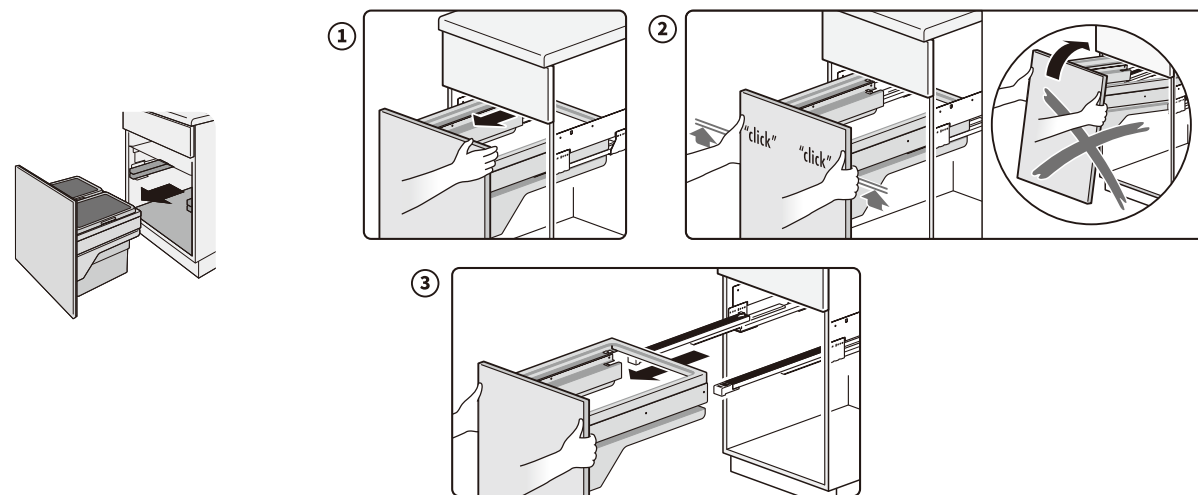


ダストボックスの取り付け・取り外し・調整

■ ダストボックスの取り付け

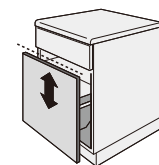


■ ダストボックスの取り外し

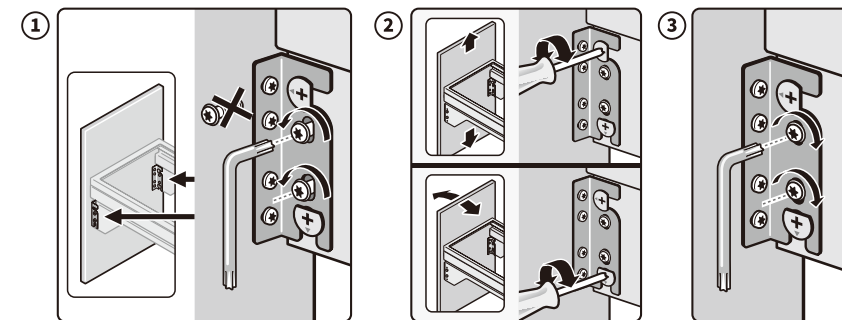
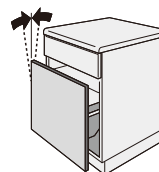


■ ダストボックスの扉の調整

上下調整



前後調整



※ 左右調整は、前板固定金具のネジ穴の長穴を用いて調整

